

2026年7月7日

サイバートラスト株式会社
代表取締役社長 北村 裕司
東証グロース：4498

サイバートラスト、「AI時代の重要インフラサプライチェーン向けトラスト基盤構想」第2弾としてSUSEとの連携を推進

～SUSE One Partner Programサファイアレベルへ登録～

サイバートラスト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北村 裕司 以下、サイバートラスト）は、2026年6月16日に発表した「AI時代の重要インフラサプライチェーン向けトラスト基盤構想」に基づく具体的な施策展開の第2弾として、日本企業が安心して利用可能な主権を持ったクラウドネイティブ基盤の構築に向けて、デジタル主権^{※1}を推進しているエンタープライズ向けオープンソースソリューションのグローバルリーダーであるSUSE（日本法人：SUSEソフトウェアソリューションズジャパン株式会社 カントリーマネージャー 渡辺元）との連携を推進することを発表します。

サイバートラストが提供する国産のトラスト基盤にSUSEの持つグローバルな最新AI技術を組み合わせることで、新たな「安心・安全・信頼のAIトラスト基盤」を日本市場に提供することを目指します。

連携内容

サイバートラストは、SUSEのパートナープログラム「SUSE One Partner Program」のサファイアレベルへ登録し、今後重要インフラサプライチェーンに対して、SUSEとの連携を進めてまいります。

日本市場でソブリンOSとしてサイバートラストが推し進めているAlmaLinux OS上に、AI基盤の中核となるコンテナ技術SUSE Rancher Primeを組み合わせることにより、お客様のAI基盤導入の障壁を下げ、セキュアなデジタル主権プラットフォームを提供します。

またSUSEのAI基盤とサイバートラストのトラスト基盤を連携することにより、コンテナそのもの、およびAI基盤の安全性を向上させ、オープンかつ、安心・安全で長期に運用管理できる基盤を構築する取り組みを両社で進めてまいります。

※SUSE Rancher Prime：

SUSE Rancher Primeは、分散されたクラウド環境におけるクラウドネイティブへの変革を強力に推進する、効率的かつセルフサービス型のKubernetesプラットフォームです。市場投入までの期間を大幅に短縮し、柔軟性の向上と運用効率の最適化を支援します。仮想化機能

やオブザーバビリティ、強固なセキュリティに加え、AI活用への対応とエンタープライズ向けのサポートを統合。マルチクラウド環境下でのKubernetes管理を簡素化し、企業におけるIT基盤全体のプラットフォーム構築を包括的にサポートします。

背景

AI時代に突入し、より一層デジタル主権が注目を集めています。生成AIの普及により、国家や企業の重要資産には、データだけではなく、AIモデル、デジタルアイデンティティ、ソフトウェアサプライチェーン、重要インフラ制御システムなどが含まれ、経済安全保障上の大きなリスクが発生することが想定されます。

日本と同様に主要な製造拠点である欧州は、デジタル主権を単なる政策や規制の枠組みではなく、国家・行政・重要産業が自ら管理・制御できる基盤として捉え、巨大プラットフォーム企業への過度な依存や外国勢力によるデータ支配や技術支配を回避し、重要インフラや政府システムの自律性を確保するために、オープンソース活用を推進しています。

「AI時代のデジタル主権」を推進している欧州の中でも、SUSEはデジタル主権を実現するための技術基盤を持った中核プレイヤーとして位置付けられています。

近年は「Open by Design, Sovereign by Choice（設計からオープン、主権は選択可能）」を戦略の中心に据えて活動を展開しています。

デジタル主権の回復は、欧州のみならず日本においても共通の課題です。国家におけるデジタル主権は、安全保障の観点で、デジタル空間を自律的に管理することにより、国民や重要インフラを守ることが目的とされますが、企業にとっても、自社のデータやAI、システムについて、経営判断に基づいて安全かつ主体的に管理・活用できる状態を作るためにデジタル主権はとても重要です。

そのため日本国内の重要インフラ事業者ならびにそのサプライチェーンにおけるデジタル主権、オープンソースによる透明性を確保し、サプライチェーンリスクを最小限にしたAI実行基盤を提供し、AI時代にあってもITインフラを安全かつ継続的に運用管理できる基盤が求められています。

サイバートラストは、デジタル主権の課題解決に向けて、デジタル主権戦略を推進するSUSEと連携し、「AI時代の重要インフラサプライチェーン向けトラスト基盤構想」の実現を進めてまいります。

コメント

SUSEソフトウェアソリューションズジャパン株式会社 カントリーマネージャー 渡辺 元様

このたびサイバートラスト様とのパートナーシップを通じて、SUSEがエンタープライズ領域で培ってきたオープンソースおよびクラウドネイティブの技術と、サイバートラスト様の高度な認証・セキュリティ技術、および、信頼性の高い基盤とサポートを組み合わせ、日本のお客様に堅牢なAI基盤を提供できることを大変嬉しく思います。

SUSEは『Open by Design, Sovereign by Choice』を理念とし、お客様が特定のベンダーやクラウドに過度に依存することなく、自らの要件に応じてIT基盤を選択・管理できる環境の実現を支援しています。サイバートラスト様が推進するトラスト基盤構想と連携することで、透明性、安全性、運用継続性を備えたAI実行基盤を構築し、日本の重要インフラや産業界が、安心してAIを活用できる未来を共に実現してまいります。

※1 デジタル主権とは：国や企業が自国・自社のデジタル資産（データやソフトウェア、ITインフラ、技術など）を外国の法制度や特定の巨大IT企業の規約に左右されることなく、自立的に管理・運用できる独立性のこと。

■関連Webサイト

<https://www.cybertrust.co.jp/pressrelease/2026/0616-trusted-infrastructure.html>

■サイバートラスト株式会社について

サイバートラストは、日本初の商用電子認証局として2000年より提供している認証・セキュリティの技術を活用したトラストサービスと、Linuxのカーネル技術やオープンソースソフトウェア（OSS）の知見を応用したオンプレミス、クラウド、組込み領域向けのプラットフォームサービスを展開しています。また、これらの技術や実績を組み合わせ、IoTをはじめとする先端分野に向けて、「ヒト・モノ・コト」の正しさを証明し、お客様のサービスの信頼性を支えるサービスを推進しています。

「すべてのヒト、モノ、コトに信頼を」。サイバートラストは、ITインフラに関わる専門性・中立性の高い技術で、安心・安全な社会を実現します。

当リリースに関するお問い合わせ先

サイバートラスト株式会社

メール：IR 担当(ir@cybertrust.co.jp)、広報担当 (press@cybertrust.co.jp)

* 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。